

第6回同志社大学「新ビジネス」フォーラムを開催

日時：2019年3月4日（月） 場所：同志社大学東京サテライト・キャンパス

今回6回目の開催となった「新ビジネス」フォーラムは、「健康未来への扉を開くスポーツ・エクササイズのパテンシャル」をテーマに、スポーツ健康科学部の研究成果を60名の参加者の方々に紹介しました。また、今回のフォーラムにあわせて特集した「ニューズレター」も配付し、聴講の参考にいただきました。

まず、スポーツ健康科学部長の**柳田昌彦教授**から「シニアの健康・体力を増進するための最新トレーニング処方」と題して、身体不活動の現状や問題点を解説し、有酸素運動とレジスタンス運動の複合トレーニングの有効性や地域社会での取組み成果などを紹介しました。次いで**上林清孝准教授**から「身体運動によって生じる脳での変化」と題して、磁気共鳴画像装置(MRI)による脳画像の解析から示された運動による脳での構造的・機能的変化について発表しました。続いて**海老根直之准教授**から「古くて新しいヒトのエネルギー代謝研究」と題して、エネルギー代謝の基礎的な解説から最新の測定法およびそれによって策定された日本人のエネルギー必要量を紹介しました。最後に**井澤鉄也教授**は「脂肪組織の代謝的・細胞性可塑性(plasticity)に及ぼす運動の効果」と題して、脂肪組織・細胞の生体での機能や幹細胞の分化制御などを紹介し、運動やメラトニンによる効果を示しました。

参加者は熱心に聴講され、名刺交換会では活発な質疑が行われました。スポーツ・健康への関心がたいへん高まっていることが実感されたフォーラムでもあり、本学としても本分野での新たな連携が期待されます。

